

上位・関連計画等の概要（抜粋）

理念・指針

岸和田市まちづくりビジョン(区域別土地利用方針、まちづくりゾーン)

都市計画マスタープラン(都市構造、全体像、地域像)

岸和田市公共交通のあり方検討(提言)

実施

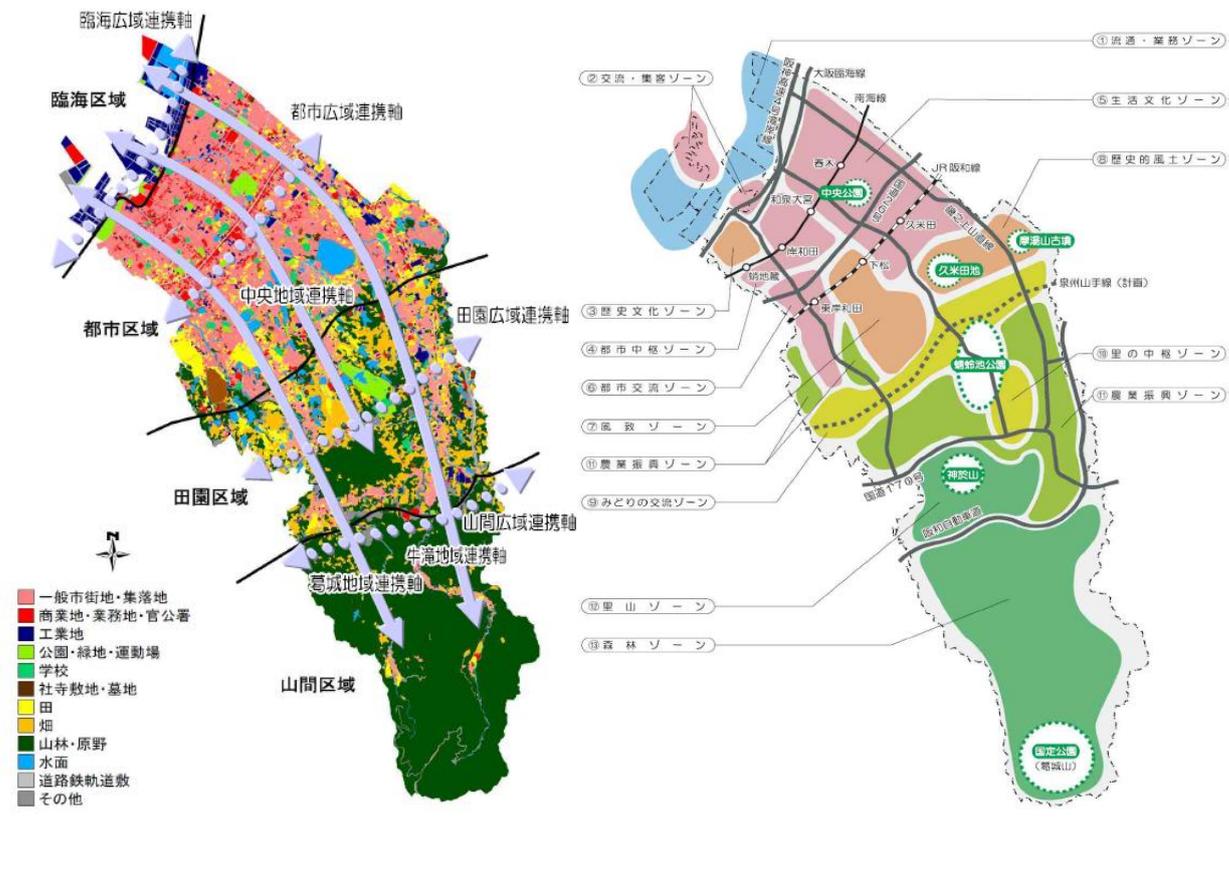
岸和田市まちづくりビジョン第2期戦略計画

岸和田市まちづくりビジョン経営計画

新たな施策

岸和田市人口ビジョン

岸和田市総合戦略

計画名	岸和田市まちづくりビジョン 将来構想 第4次岸和田市総合計画(平成23年3月)
計画期間	2011～2022
概要	<p>(1) 区域別土地利用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 臨海区域(概ね海岸線～大阪臨海線沿道) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>臨海道路、港湾等の広域的な輸送手段</u>を活かした<u>工業・商業・港湾業務及び供給処理業務機能</u>を担う。 ② 都市区域(概ね大阪臨海線沿道～泉州山手線沿道) <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅・商業・工業等の用途を計画的に配置し、<u>都市的機能の充実</u>を図る。 ・ 各駅周辺及び幹線道路沿道は<u>商業・流通業務機能を担う地域として形成</u>を図る。 ③ 田園区域(概ね泉州山手線沿道～阪和自動車道沿道) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>幹線道路の結節点に位置</u>する。地域資源を活かした産業創出等、<u>自然環境と連携・共存した土地利用</u>を図る。 <p>(2) まちづくりゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 流通・業務ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際流通機能を活かし、<u>工業・業務の活性化</u>を図る。 ② 交流・集客ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>交通・集客拠点として賑わいと潤いのある空間形成</u>を図る。 ③ 都市中核ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ 岸和田駅周辺を中心に<u>都市機能の集積</u>を図る。 ④ 生活・文化ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ 南海春木駅、JR久米田駅を中心とした周辺一帯を<u>市民の健康・レクリエーション拠点の形成</u>を図る。 ⑤ 都市交流ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ JR東岸和田駅周辺に、<u>商業を中心に都市機能の集積と多様な文化交流拠点の形成</u>を図る。 ⑥ みどりの交流ゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・ 泉州山手線の延伸に応じて、<u>沿道周辺を広域連携軸が担うべき都市機能や地域資源を活かした都市と農業が融合するゾーンとして長期的に整備・形成</u>を図る。  <p>The left map shows regional axes: 臨海広域連携軸, 都市広域連携軸, 中央地域連携軸, 田園広域連携軸, 山間広域連携軸, 牛滝地域連携軸, 畷城地域連携軸. It also identifies four main areas: 臨海区域, 都市区域, 田園区域, and 山間区域. A legend below lists land use types: 一般市街地・集落地, 商業地・業務地・官公署, 工業地, 公園・緑地・運動場, 学校, 社寺敷地・墓地, 田, 畑, 山林・原野, 水面, 道路鉄軌道敷, and その他.</p> <p>The right map shows specific planning zones: ①流通・業務ゾーン, ②生活文化ゾーン, ③歴史的風土ゾーン, ④歴史文化ゾーン, ⑤都市中核ゾーン, ⑥都市交流ゾーン, ⑦風致ゾーン, ⑧農業振興ゾーン, ⑨みどりの交流ゾーン, ⑩聖山ゾーン, ⑪森林ゾーン. It also shows ④歴史的風土ゾーン, ⑤生活文化ゾーン, ⑥歴史文化ゾーン, ⑦風致ゾーン, ⑧農業振興ゾーン, ⑨みどりの交流ゾーン, ⑩聖山ゾーン, ⑪森林ゾーン. Key locations marked include 大阪臨海線, 南海線, JR阪和線, 中央公園, 久米田, 泉山古墳, 泉州山手線(計画), 神楽山, 神楽池公園, 神楽山, 神楽山(鴨城山), and 阪和自動車道.</p>

計画名	岸和田市都市計画マスタープラン(平成23年3月)
計画期間	短期目標年度(2010), 長期目標年度(2030)
概要	<p>(1)全体像</p> <p>①基本テーマ1 【多様な魅力と活力を備えたまちづくり】</p> <p>a. 広域交通網づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業・観光機能が集積する都市拠点の立地条件向上のために、既存の<u>自動車専用道路や鉄道と連携した交通網整備</u>を進める。 <p>b. 交流と回遊性を促進する交通網づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>東西をつなぐ交通網の整備</u>を行うとともに、幹線道路と鉄道の立体交差化を進める。 ・<u>駅前広場や歩道整備、自動車・自転車駐車場の適正な確保</u>を推進、バスやレンタサイクル等との連携を高める。 <p>②基本テーマ2 【環境にやさしい、緑豊かなまちづくり】</p> <p>a. 公共交通と連携したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅の徒歩圏を中心に、<u>歩いて暮らせる市街地環境</u>を高める。 ・鉄道駅から徒歩圏外にある地域では、<u>路線バスとコミュニティバスの連携</u>による交通利便性を高める。 <p>③基本テーマ5 【人にやさしいまちづくり】</p> <p>a. 鉄道交通サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学をはじめとする<u>市内外の交通動脈として利便性の充実</u>を図る。 ・<u>交通結節点である鉄道駅を中心に、誰もが移動しやすい環境づくりを促進</u>する。 ・<u>違法駐車や路上駐車をなくすための啓発</u>や<u>駐車場・駐輪場の確保</u>を推進する。 ・<u>鉄道と幹線道路の立体交差化、踏切除去</u>により安全な通行空間を確保する。 <p>b. バス交通サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅・公共施設・集客施設を結ぶ<u>バス交通の利便性の向上</u>を図る。 <p>c. 公共交通と連携したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅から徒歩圏外にある地域では、<u>路線バスとコミュニティバスの連携</u>により、交通の利便性の向上を図る。 <p>d. 安心して暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路を適正に配置することにより、<u>住宅地内の通過交通を減少させ、安全な住環境の維持・形成</u>を図る。 <p>e. 誰もが利用しやすい施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の人が利用する施設における<u>バリアフリー化</u>を推進する。 <p>方針図</p>  <p>都市型産業拠点 工業拠点 都市拠点 地域拠点 生活拠点</p> <p>農林漁業資源 農地・果樹園 樹林地 漁港</p> <p>その他主な地域資源 歴史・伝統 自然 スポーツ 文化</p> <p>広域連携軸 道路 港湾</p> <p>地域連携軸 道路 河川</p>

計画名	岸和田市都市計画マスタープラン(平成23年3月)
計画期間	短期目標年度(2010), 長期目標年度(2030)
概要	<p>(2) 地域像</p> <p>① 都市中核地域</p> <p>〈特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田駅を中心に、商業・業務が集積しており、今後も 都市拠点としての発展 に取り組む必要がある。 鉄道の高架化や道路整備等により拠点としての駅までのアクセス性向上 に取り組む。 <p>〈まちづくり方針とまちづくり方策〉</p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海本線の高架化 岸和田駅西停車場線、岸和田港福田線の整備 等 <p>b. 拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田駅、和泉大宮駅周辺の整備 駅アクセス道路の整備 等  <p>② 岸和田北部地域</p> <p>〈特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 春木駅周辺を中心に 都市機能の充実と交通網の強化 を図る。 南海本線の高架化 や 春木駅周辺・駅停車場線の整備 等行う。 <p>〈まちづくり方針とまちづくり方策〉</p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海本線の高架化 春木駅周辺の整備 春木駅西停車場線、春木久米田線の整備 等 <p>b. 拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 春木駅周辺の整備 等 <p>c. 散策ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路の整備 等  <p>③ 葛城の谷地域</p> <p>〈特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市部では、 交通利便性の高い都市機能の充実 を図る。 東岸和田駅周辺では、 鉄道の高架化事業 や 停車場線の整備 等を行う。 <p>〈まちづくり方針とまちづくり方策〉</p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田土生郷修斉線及び JR 阪和線の立体交差化 東岸和田駅停車場線の整備 泉州山手線の整備 等 <p>b. 幹線沿道にふさわしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路沿道の有効利用及び交差点周辺の拠点整備 <p>c. 安全で快適な道・環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活道路の整備 通学路の確保 等 <p>d. 高齢社会に向けた人にやさしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道(坂道、施設周辺)の改善 

計画名	岸和田市都市計画マスタープラン(平成 23 年 3 月)	
計画期間	短期目標年度(2010), 長期目標年度(2030)	
概要	<p>④岸和田中部地域 <特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 26 号から JR 阪和線にかけては住宅と工業が混在する市街地を形成している。 ・JR 阪和線の高架化事業や岸和田港福田線等の幹線道路整備が行われている。 <p><まちづくり方針とまちづくり方策></p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸和田港福田線、岸和田中央線の整備 ・泉州山手線の整備 等 <p>b. 幹線沿道にふさわしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿道の有効利用及び交差点周辺の拠点整備 <p>c. 安全で快適な道・環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備 ・通学路の確保 等 <p>⑤久米田地域 <特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 26 号から JR 阪和線にかけてほとんどで土地区画整理が行われており、都市基盤の整った市街地を形成している。 ・自然環境が豊富な地域の特性を活かしつつ交通ネットワークの充実と魅力ある商業拠点の育成を図る。 <p><まちづくり方針とまちづくり方策></p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸和田中央線、春木久米田線の整備 ・都市計画道路の整備と地域生活への配慮 等 <p>b. 拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米田駅西の整備 ・久米田駅東側広場の整備 等 <p>⑥牛滝の谷地域 <特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山間部は豊かな自然環境を形成し、丘陵部では、集落と農地が広がっている。 ・平地部では、住宅地や幹線道路沿いに商工業施設が立地する市街地を形成している。 <p><まちづくり方針とまちづくり方策></p> <p>a. 円滑な交通と安全な道づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉州山手線の整備 ・岸和田中央線の整備 ・泉州山手線沿いに鉄道新駅の整備 等 <p>b. 幹線沿道にふさわしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿道の有効利用及び交差点周辺の拠点整備 ・インターチェンジ周辺を流通ゾーンとして整備 <p>c. 安全で快適な道・環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備 ・通学路の確保 等 	

計画名	岸和田市公共交通のあり方検討 平成22年～平成24年度検討結果報告書
計画期間	—
概要	<p>(1) 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>将来にわたって、みんなが使える公共交通サービスを実現</u>する <p>(2) 現況の公共交通の課題・問題点</p> <p>○市域全般</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>◆公共交通の連携（鉄道とバス）の強化</p> <p>将来のまちづくりの方針として、鉄道駅を中心とした拠点づくりが挙げられており、鉄道駅の徒歩圏から外れた地域からは、バスにより鉄道駅ごとの拠点に移動することが想定されている。このことから、鉄道駅間の移動については、鉄道を利用の方が合理的であると考えられる。</p> <p>しかしながら、現況においては、乗り換えを想定した運行ダイヤや乗り換え時の運賃など、鉄道とバスの連携がとれていない状況であるため、これら乗り継ぎにおける障害を無くし、鉄道・路線バス・ローズバスが一体となり、利用者にとって使いやすい公共交通を確立するための施策等について検討を行うことが望まれる。</p> <p>◆バス利用によるインセンティブの確保</p> <p>年々バスの利用者が減少している中で、路線バス・ローズバスを維持していくためには利用者の確保・維持をしていくことが最も重要な条件となるが、これから人口が横這い、もしくは、減少していく中では難しい課題となる。</p> <p>このため、少しでもバスを利用した事による有利な点（商店等でのバス利用者への割引等）を確保できるような施策について検討、および、関係機関との協議を行うことが必要である。</p> <p>また、まちづくりの観点からも、公共交通を利用した方が利便性が高くなるような土地利用や開発などを進めていくことが望まれる。</p> </div> <p>○地域別</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>◇都市中核地域</p> <p>地域は概ね鉄道駅の徒歩圏域に含まれ、また、路線バス・ローズバスの運行もある。ただし、バスの利用者数自体は決して多くはなく、バス利用者拡大に向けた利便性の向上について検討が必要である。</p> <p>◇岸和田北部地域</p> <p>地域の海側の地区は春木駅の徒歩圏から外れ、バスの路線も無い公共交通空白地区となっているため、これら地区と春木駅周辺を結ぶ交通手段の確保について検討を行う必要がある。</p> <p>◇久米田地域</p> <p>地域は概ね久米田駅の徒歩圏域となるが、忠岡町との市町境付近の地区は、久米田駅の徒歩圏から外れ、バスの路線も無い公共交通空白地区となっているため、これら地区と久米田駅周辺を結ぶ交通手段の確保について検討を行う必要がある。</p> <p>◇岸和田中部地域</p> <p>地域内の公共交通は路線バス（福田線）のみとなるため、下松駅の拠点への移動手段確保のためにも福田線の維持・利便性向上が課題となる。</p> <p>地域の南端に計画されている「岸和田丘陵地区」の整備次第では、福田線の需要拡大も考えられるため、開発計画の進捗にも注視しつつ検討を行っていく必要がある。</p> <p>◇葛城の谷地域、牛滝の谷地域</p> <p>どちらも南北に長い地域で、鉄道駅までの移動は路線バス（葛城線・牛滝線）に拠る所が大きいため、これらバス路線の維持・利便性向上についての検討が必要となる。</p> <p>山間部においては、今後、人口減少・高齢化の影響が顕著に出てくるものと思われるため、現況の維持のみではなく、地域状況に合った公共交通のあり方についても検討を行っていく必要がある。</p> </div>

計画名	岸和田市公共交通のあり方検討 平成22年～平成24年度検討結果報告書																																
計画期間	—																																
概要	<p>(3) 課題・問題点解消に向けた取組</p> <p>① 既存バス路線の維持・活性化策</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな需要喚起のための方策の検討 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">＜短期的な取組＞</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">＜中・長期的な取組＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> WEBによる広報・利用促進PR バスマップ・バス活用ガイドの作成 観光事業との連携 <u>通学支援による利用促進</u> <u>(小学校・中学校・高校)</u> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <u>運賃・料金の工夫</u> </td> </tr> </tbody> </table> <p>② 公共交通空白地区の解消案</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">地区等</th> <th style="width: 55%;">状況・課題</th> <th style="width: 20%;">具体策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">公共交通空白地区</td> <td>春木・磯上</td> <td>紀州街道沿いなど集落地区では道路が狭くバス運行は困難 臨海線付近の工場跡地で住宅開発が進んでいる 地区内に店舗、病院等が立地し生活利便性がある程度高い 高低差が少なく自転車・徒歩での移動が容易</td> <td>将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する</td> </tr> <tr> <td>箕土路</td> <td>国道沿いの区画整理により整備された地区では、事業所等の土地利用が多い 旧集落内は道路が狭くバス運行は困難</td> <td>将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する</td> </tr> <tr> <td>門前</td> <td>宅地開発が急速に進み人口が増加 道路が狭くバス運行は困難 都市計画道路岸和田港福田線の事業中</td> <td>道路整備によりバス運行が可能となった時点で、バスルートの拡充などを検討する</td> </tr> <tr> <td>黄金塚</td> <td>昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 店舗、病院等が近隣に少なく、生活不便地域区画整理地区では人口が増加している</td> <td rowspan="2">山直北・城東校区において、コミュニティバスの試験運行を実施する</td> </tr> <tr> <td>田治米団地</td> <td>府営住宅団地で高齢化が進んでいる(総戸数720)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">バス運行要望地区</td> <td>東ヶ丘</td> <td>昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 路線バスが乗り入れており、既存バス路線との整合が必要</td> <td>既存路線バスとの競合を避ける為、地域と協働したバス利用促進による路線バスの複便などを検討する</td> </tr> <tr> <td>山直南</td> <td>蜻蛉池公園～和泉中央駅間へのバス路線新設要望(H22.12.22:山直南地区市民協) 市街化調整区域で、高齢化・人口減少が進んでいる 丘陵地区(道の駅)が隣接する 既存路線バスとの整合が課題</td> <td>将来的な課題として、地区に隣接する丘陵地区整備とも連携し検討する</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 地域との協働による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働による取組体制の確立 <u>バス運行の実態・他市事例の情報提供</u> <p>④ 効率的・効果的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> 財源の確保(<u>民間事業者との連携・地域との連携</u>) <u>業評価手法・項目・基準の設定</u> 			＜短期的な取組＞	＜中・長期的な取組＞	<ul style="list-style-type: none"> WEBによる広報・利用促進PR バスマップ・バス活用ガイドの作成 観光事業との連携 <u>通学支援による利用促進</u> <u>(小学校・中学校・高校)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>運賃・料金の工夫</u> 		地区等	状況・課題	具体策	公共交通空白地区	春木・磯上	紀州街道沿いなど集落地区では道路が狭くバス運行は困難 臨海線付近の工場跡地で住宅開発が進んでいる 地区内に店舗、病院等が立地し生活利便性がある程度高い 高低差が少なく自転車・徒歩での移動が容易	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する	箕土路	国道沿いの区画整理により整備された地区では、事業所等の土地利用が多い 旧集落内は道路が狭くバス運行は困難	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する	門前	宅地開発が急速に進み人口が増加 道路が狭くバス運行は困難 都市計画道路岸和田港福田線の事業中	道路整備によりバス運行が可能となった時点で、バスルートの拡充などを検討する	黄金塚	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 店舗、病院等が近隣に少なく、生活不便地域区画整理地区では人口が増加している	山直北・城東校区において、コミュニティバスの試験運行を実施する	田治米団地	府営住宅団地で高齢化が進んでいる(総戸数720)	バス運行要望地区	東ヶ丘	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 路線バスが乗り入れており、既存バス路線との整合が必要	既存路線バスとの競合を避ける為、地域と協働したバス利用促進による路線バスの複便などを検討する	山直南	蜻蛉池公園～和泉中央駅間へのバス路線新設要望(H22.12.22:山直南地区市民協) 市街化調整区域で、高齢化・人口減少が進んでいる 丘陵地区(道の駅)が隣接する 既存路線バスとの整合が課題	将来的な課題として、地区に隣接する丘陵地区整備とも連携し検討する
＜短期的な取組＞	＜中・長期的な取組＞																																
<ul style="list-style-type: none"> WEBによる広報・利用促進PR バスマップ・バス活用ガイドの作成 観光事業との連携 <u>通学支援による利用促進</u> <u>(小学校・中学校・高校)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>運賃・料金の工夫</u> 																																
	地区等	状況・課題	具体策																														
公共交通空白地区	春木・磯上	紀州街道沿いなど集落地区では道路が狭くバス運行は困難 臨海線付近の工場跡地で住宅開発が進んでいる 地区内に店舗、病院等が立地し生活利便性がある程度高い 高低差が少なく自転車・徒歩での移動が容易	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する																														
	箕土路	国道沿いの区画整理により整備された地区では、事業所等の土地利用が多い 旧集落内は道路が狭くバス運行は困難	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する																														
	門前	宅地開発が急速に進み人口が増加 道路が狭くバス運行は困難 都市計画道路岸和田港福田線の事業中	道路整備によりバス運行が可能となった時点で、バスルートの拡充などを検討する																														
	黄金塚	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 店舗、病院等が近隣に少なく、生活不便地域区画整理地区では人口が増加している	山直北・城東校区において、コミュニティバスの試験運行を実施する																														
	田治米団地	府営住宅団地で高齢化が進んでいる(総戸数720)																															
バス運行要望地区	東ヶ丘	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 路線バスが乗り入れており、既存バス路線との整合が必要	既存路線バスとの競合を避ける為、地域と協働したバス利用促進による路線バスの複便などを検討する																														
	山直南	蜻蛉池公園～和泉中央駅間へのバス路線新設要望(H22.12.22:山直南地区市民協) 市街化調整区域で、高齢化・人口減少が進んでいる 丘陵地区(道の駅)が隣接する 既存路線バスとの整合が課題	将来的な課題として、地区に隣接する丘陵地区整備とも連携し検討する																														

計画名	岸和田市まちづくりビジョン 第2期戦略計画 第4次岸和田市総合計画(平成27年3月)																																																																									
計画期間	2015~2018																																																																									
概要	<p>○交通に係る基本目標における指標及び各指標の目標値(目指そう値)</p> <p>①基本目標1-3 暮らしの安全性・快適性を高める <交通事故の不安を感じることなく外出している></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目指そう値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合</td> <td>18.2% (H26)</td> <td>21.0% (H30)</td> <td>交通安全対策に対する市民の感じ方を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>交通事故(人身事故+物損事故)の年間発生件数</td> <td>5,843 (H25)</td> <td>5,800 (H29)</td> <td>市内の交通安全状況を測定する指標</td> </tr> </tbody> </table> <p>[実現に向けて]</p> <p>a. 交通安全意識の高揚を図る。 b. 交通安全施設(交通信号機、交通情報板、道路標識、路面標示、歩道、防護柵、道路照明等、カーブミラー等)を整備する。</p> <p>②基本目標1-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する <拠点の整備が計画的に進んでいる></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目指そう値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道駅周辺の市街地の活気があると感じている市民の割合</td> <td>16.3% (H26)</td> <td>18.0% (H30)</td> <td>市街地のにぎわいに対する市民の感じ方を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>市内鉄道駅(7駅)の1日平均乗車人員</td> <td>45,600人 (H25)</td> <td>46,000人 (H29)</td> <td>市内鉄道駅の利用状況について測定する指標</td> </tr> </tbody> </table> <p>[実現に向けて]</p> <p>a. 市の中心部にふさわしいまちづくりを進める。 b. 駅の周りを安全で利便性の高い空間にする。 <市内の移動がスムーズにできている></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目指そう値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合</td> <td>31.7% (H26)</td> <td>37.0% (H30)</td> <td>市民の市内移動の状況を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>都市計画道路の整備率</td> <td>54.2% (H25)</td> <td>56.3% (H29)</td> <td>移動をスムーズにするための都市計画道路の整備状況を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>市内で運行されているバスの1日平均乗車人員</td> <td>3,971人/日 (H25)</td> <td>4,100人/日 (H29)</td> <td>市内移動のための主な公共交通機関であるバスの利用状況を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>踏切による交通遮断時間 市道並松上松線</td> <td>9.8時間/日 (H21)</td> <td>0.0時間/日 (H29)</td> <td rowspan="2">市内移動の妨げとなる踏切遮断時間を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>踏切による交通遮断時間 府道岸和田港塔原線</td> <td>9.6時間/日 (H21)</td> <td>0.0時間/日 (H29)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[実現に向けて]</p> <p>a. 広域・市内幹線道路の整備を進める。 b. 自動車駐車場対策を推進する。 c. 踏切渋滞の解消に取り組む。 d. 市道を適正に管理する。 e. 公共交通機関を利用しやすい環境づくりに進める。 <市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目指そう値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岸和田が多くの観光客でにぎわい、観光の振興が十分な状態であると感じている市民の割合</td> <td>14.3% (H26)</td> <td>19.0% (H30)</td> <td>観光振興に対する市民の感じ方を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>1年間の主要観光施設及びイベント等への観光入込客数</td> <td>287万人 (H25)</td> <td>287万人 (H29)</td> <td>観光振興の状況を測定する指標</td> </tr> </tbody> </table> <p>[実現に向けて]</p> <p>a. 広域観光・まちづくり観光を推進する。 b. 観光客の受入体制を整える。</p> <p>③基本目標1-8 みんながみんなを大事にし、見守る <ユニバーサルデザイン化が進んでいる></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値</th> <th>目指そう値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合</td> <td>7.5% (H26)</td> <td>8.0% (H30)</td> <td>ユニバーサルデザイン化への市民の感じ方を測定する指標</td> </tr> <tr> <td>駅と主要施設を結ぶ道路のバリアフリー化率</td> <td>37.9% (H25)</td> <td>50.2% (H29)</td> <td>鉄道駅周辺バリアフリー化の状況を測定する指標</td> </tr> </tbody> </table> <p>[実現に向けて]</p> <p>a. 公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する。</p>			指標名	現状値	目指そう値	説明	安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	18.2% (H26)	21.0% (H30)	交通安全対策に対する市民の感じ方を測定する指標	交通事故(人身事故+物損事故)の年間発生件数	5,843 (H25)	5,800 (H29)	市内の交通安全状況を測定する指標	指標名	現状値	目指そう値	説明	鉄道駅周辺の市街地の活気があると感じている市民の割合	16.3% (H26)	18.0% (H30)	市街地のにぎわいに対する市民の感じ方を測定する指標	市内鉄道駅(7駅)の1日平均乗車人員	45,600人 (H25)	46,000人 (H29)	市内鉄道駅の利用状況について測定する指標	指標名	現状値	目指そう値	説明	市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	31.7% (H26)	37.0% (H30)	市民の市内移動の状況を測定する指標	都市計画道路の整備率	54.2% (H25)	56.3% (H29)	移動をスムーズにするための都市計画道路の整備状況を測定する指標	市内で運行されているバスの1日平均乗車人員	3,971人/日 (H25)	4,100人/日 (H29)	市内移動のための主な公共交通機関であるバスの利用状況を測定する指標	踏切による交通遮断時間 市道並松上松線	9.8時間/日 (H21)	0.0時間/日 (H29)	市内移動の妨げとなる踏切遮断時間を測定する指標	踏切による交通遮断時間 府道岸和田港塔原線	9.6時間/日 (H21)	0.0時間/日 (H29)	指標名	現状値	目指そう値	説明	岸和田が多くの観光客でにぎわい、観光の振興が十分な状態であると感じている市民の割合	14.3% (H26)	19.0% (H30)	観光振興に対する市民の感じ方を測定する指標	1年間の主要観光施設及びイベント等への観光入込客数	287万人 (H25)	287万人 (H29)	観光振興の状況を測定する指標	指標名	現状値	目指そう値	説明	ユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合	7.5% (H26)	8.0% (H30)	ユニバーサルデザイン化への市民の感じ方を測定する指標	駅と主要施設を結ぶ道路のバリアフリー化率	37.9% (H25)	50.2% (H29)	鉄道駅周辺バリアフリー化の状況を測定する指標
指標名	現状値	目指そう値	説明																																																																							
安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	18.2% (H26)	21.0% (H30)	交通安全対策に対する市民の感じ方を測定する指標																																																																							
交通事故(人身事故+物損事故)の年間発生件数	5,843 (H25)	5,800 (H29)	市内の交通安全状況を測定する指標																																																																							
指標名	現状値	目指そう値	説明																																																																							
鉄道駅周辺の市街地の活気があると感じている市民の割合	16.3% (H26)	18.0% (H30)	市街地のにぎわいに対する市民の感じ方を測定する指標																																																																							
市内鉄道駅(7駅)の1日平均乗車人員	45,600人 (H25)	46,000人 (H29)	市内鉄道駅の利用状況について測定する指標																																																																							
指標名	現状値	目指そう値	説明																																																																							
市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	31.7% (H26)	37.0% (H30)	市民の市内移動の状況を測定する指標																																																																							
都市計画道路の整備率	54.2% (H25)	56.3% (H29)	移動をスムーズにするための都市計画道路の整備状況を測定する指標																																																																							
市内で運行されているバスの1日平均乗車人員	3,971人/日 (H25)	4,100人/日 (H29)	市内移動のための主な公共交通機関であるバスの利用状況を測定する指標																																																																							
踏切による交通遮断時間 市道並松上松線	9.8時間/日 (H21)	0.0時間/日 (H29)	市内移動の妨げとなる踏切遮断時間を測定する指標																																																																							
踏切による交通遮断時間 府道岸和田港塔原線	9.6時間/日 (H21)	0.0時間/日 (H29)																																																																								
指標名	現状値	目指そう値	説明																																																																							
岸和田が多くの観光客でにぎわい、観光の振興が十分な状態であると感じている市民の割合	14.3% (H26)	19.0% (H30)	観光振興に対する市民の感じ方を測定する指標																																																																							
1年間の主要観光施設及びイベント等への観光入込客数	287万人 (H25)	287万人 (H29)	観光振興の状況を測定する指標																																																																							
指標名	現状値	目指そう値	説明																																																																							
ユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合	7.5% (H26)	8.0% (H30)	ユニバーサルデザイン化への市民の感じ方を測定する指標																																																																							
駅と主要施設を結ぶ道路のバリアフリー化率	37.9% (H25)	50.2% (H29)	鉄道駅周辺バリアフリー化の状況を測定する指標																																																																							

計画名	岸和田市まちづくりビジョン 平成27年度版経営計画 第4次岸和田市総合計画(平成27年3月)																																																																													
計画期間	2015～2017																																																																													
概要	<p>○交通に係る基本目標における施策の方向性と事務事業名・担当課</p> <p>①基本目標1-3 暮らしの安全性・快適性を高める <交通事故の不安を感じることなく外出している></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の方向性</th> <th>事務事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通マナーやルール、交通安全意識の高揚を図る</td> <td>交通安全対策事業</td> <td rowspan="2">建設部 建設管理課</td> </tr> <tr> <td>交通安全団体支援事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交通事故を未然に防ぐために必要な施設の整備を進める</td> <td>交通安全対策事業</td> <td rowspan="3">建設部 高架事業・道路整備課</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設整備事業</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設維持事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>②基本目標1-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する <拠点の整備が計画的に進んでいる></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の方向性</th> <th>事務事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の中心部にふさわしいまちづくりを進める</td> <td>中心市街地活性化事業</td> <td>企画調整部 政策企画課</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">駅の周りを安全で利便性の高い空間にする</td> <td>春木駅付近高架化事業</td> <td>まちづくり推進部 都市計画課</td> </tr> <tr> <td>市街地形成事業</td> <td rowspan="2">まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> <tr> <td>春木駅周辺整備事業</td> </tr> <tr> <td>自転車駐車対策事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> <tr> <td>自転車等駐車管理事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> <tr> <td>自転車等場指定管理事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> </tbody> </table> <p><市内の移動がスムーズにできている></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の方向性</th> <th>事務事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市内幹線道路の整備を進める</td> <td>街路事業用地管理事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> <tr> <td>岸和田港福田線整備事業</td> <td>建設部 高架事業・道路整備課</td> </tr> <tr> <td>広域幹線道路の整備を推進する</td> <td>広域幹線計画事業</td> <td>まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> <tr> <td>自動車駐車場対策を推進する</td> <td>自動車駐車対策事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> <tr> <td>踏切渋滞の解消に取り組む</td> <td>JR 阪和線東岸和田駅付近高架化事業</td> <td>建設部 高架事業・道路整備課</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">市道を適正に管理する</td> <td>道路管理事業</td> <td>建設部 設管理課</td> </tr> <tr> <td>道路新設改良事業</td> <td rowspan="2">建設部 高架事業・道路整備課</td> </tr> <tr> <td>橋りょう維持事業</td> </tr> <tr> <td>道路維持事業</td> <td>建設部 高架事業・道路整備課</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">公共交通機関を利用しやすい環境づくりに進める</td> <td>交通政策検討事業</td> <td>まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> <tr> <td>バス交通充実事業</td> <td>まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> <tr> <td>交通体系調査事業</td> <td>まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> <tr> <td>交通体系調査事業</td> <td>建設部 建設管理課</td> </tr> </tbody> </table> <p><市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の方向性</th> <th>事務事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光客の受入体制を整える</td> <td>市営駐車場管理事業</td> <td>産業振興部 観光課</td> </tr> </tbody> </table> <p>③基本目標1-8 みんながみんなを大事にし、見守る <ユニバーサルデザイン化が進んでいる></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の方向性</th> <th>事務事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する</td> <td>バリアフリー化推進事業</td> <td>まちづくり推進部 市街地整備課</td> </tr> </tbody> </table>		施策の方向性	事務事業名	担当課	交通マナーやルール、交通安全意識の高揚を図る	交通安全対策事業	建設部 建設管理課	交通安全団体支援事業	交通事故を未然に防ぐために必要な施設の整備を進める	交通安全対策事業	建設部 高架事業・道路整備課	交通安全施設整備事業	交通安全施設維持事業	施策の方向性	事務事業名	担当課	市の中心部にふさわしいまちづくりを進める	中心市街地活性化事業	企画調整部 政策企画課	駅の周りを安全で利便性の高い空間にする	春木駅付近高架化事業	まちづくり推進部 都市計画課	市街地形成事業	まちづくり推進部 市街地整備課	春木駅周辺整備事業	自転車駐車対策事業	建設部 建設管理課	自転車等駐車管理事業	建設部 建設管理課	自転車等場指定管理事業	建設部 建設管理課	施策の方向性	事務事業名	担当課	市内幹線道路の整備を進める	街路事業用地管理事業	建設部 建設管理課	岸和田港福田線整備事業	建設部 高架事業・道路整備課	広域幹線道路の整備を推進する	広域幹線計画事業	まちづくり推進部 市街地整備課	自動車駐車場対策を推進する	自動車駐車対策事業	建設部 建設管理課	踏切渋滞の解消に取り組む	JR 阪和線東岸和田駅付近高架化事業	建設部 高架事業・道路整備課	市道を適正に管理する	道路管理事業	建設部 設管理課	道路新設改良事業	建設部 高架事業・道路整備課	橋りょう維持事業	道路維持事業	建設部 高架事業・道路整備課	公共交通機関を利用しやすい環境づくりに進める	交通政策検討事業	まちづくり推進部 市街地整備課	バス交通充実事業	まちづくり推進部 市街地整備課	交通体系調査事業	まちづくり推進部 市街地整備課	交通体系調査事業	建設部 建設管理課	施策の方向性	事務事業名	担当課	観光客の受入体制を整える	市営駐車場管理事業	産業振興部 観光課	施策の方向性	事務事業名	担当課	公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する	バリアフリー化推進事業	まちづくり推進部 市街地整備課
施策の方向性	事務事業名	担当課																																																																												
交通マナーやルール、交通安全意識の高揚を図る	交通安全対策事業	建設部 建設管理課																																																																												
	交通安全団体支援事業																																																																													
交通事故を未然に防ぐために必要な施設の整備を進める	交通安全対策事業	建設部 高架事業・道路整備課																																																																												
	交通安全施設整備事業																																																																													
	交通安全施設維持事業																																																																													
施策の方向性	事務事業名	担当課																																																																												
市の中心部にふさわしいまちづくりを進める	中心市街地活性化事業	企画調整部 政策企画課																																																																												
駅の周りを安全で利便性の高い空間にする	春木駅付近高架化事業	まちづくり推進部 都市計画課																																																																												
	市街地形成事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												
	春木駅周辺整備事業																																																																													
	自転車駐車対策事業	建設部 建設管理課																																																																												
自転車等駐車管理事業	建設部 建設管理課																																																																													
自転車等場指定管理事業	建設部 建設管理課																																																																													
施策の方向性	事務事業名	担当課																																																																												
市内幹線道路の整備を進める	街路事業用地管理事業	建設部 建設管理課																																																																												
	岸和田港福田線整備事業	建設部 高架事業・道路整備課																																																																												
広域幹線道路の整備を推進する	広域幹線計画事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												
自動車駐車場対策を推進する	自動車駐車対策事業	建設部 建設管理課																																																																												
踏切渋滞の解消に取り組む	JR 阪和線東岸和田駅付近高架化事業	建設部 高架事業・道路整備課																																																																												
市道を適正に管理する	道路管理事業	建設部 設管理課																																																																												
	道路新設改良事業	建設部 高架事業・道路整備課																																																																												
	橋りょう維持事業																																																																													
	道路維持事業	建設部 高架事業・道路整備課																																																																												
公共交通機関を利用しやすい環境づくりに進める	交通政策検討事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												
	バス交通充実事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												
	交通体系調査事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												
	交通体系調査事業	建設部 建設管理課																																																																												
施策の方向性	事務事業名	担当課																																																																												
観光客の受入体制を整える	市営駐車場管理事業	産業振興部 観光課																																																																												
施策の方向性	事務事業名	担当課																																																																												
公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する	バリアフリー化推進事業	まちづくり推進部 市街地整備課																																																																												

計画名	岸和田市人口ビジョン																																																																																																																																					
計画期間	2015～2060																																																																																																																																					
概要	<p>(1) 岸和田市の人口推移</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田市では平成 17 年以降、人口減少が続く、このまま推移すると 平成 52 年には 16 万人台まで減少する見込み。 年少人口は昭和 55 年、生産年齢人口は平成 12 年以降、減少が続く一方、老年人口は平成 52 年頃まで増加が続く見込み。 <div data-bbox="300 427 1485 898" data-label="Figure"> <p>岸和田市の人口推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>年少人口(人)</th> <th>生産年齢人口(人)</th> <th>老年人口(人)</th> <th>年少人口割合(%)</th> <th>生産年齢人口割合(%)</th> <th>老年人口割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S30</td><td>107,640</td><td>64.2</td><td>30.7</td><td>5.1</td><td>64.2</td><td>30.7</td></tr> <tr><td>S35</td><td>120,265</td><td>67.5</td><td>27.4</td><td>5.1</td><td>67.5</td><td>27.4</td></tr> <tr><td>S40</td><td>143,710</td><td>69.6</td><td>25.1</td><td>5.3</td><td>69.6</td><td>25.1</td></tr> <tr><td>S45</td><td>162,022</td><td>68.8</td><td>25.3</td><td>5.9</td><td>68.8</td><td>25.3</td></tr> <tr><td>S50</td><td>174,952</td><td>66.7</td><td>26.3</td><td>7.0</td><td>66.7</td><td>26.3</td></tr> <tr><td>S55</td><td>180,317</td><td>67.1</td><td>24.6</td><td>8.3</td><td>67.1</td><td>24.6</td></tr> <tr><td>S60</td><td>185,731</td><td>68.9</td><td>21.7</td><td>9.3</td><td>68.9</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>H2</td><td>188,563</td><td>71.0</td><td>18.3</td><td>10.6</td><td>71.0</td><td>18.3</td></tr> <tr><td>H7</td><td>194,818</td><td>70.4</td><td>16.7</td><td>12.9</td><td>70.4</td><td>16.7</td></tr> <tr><td>H12</td><td>200,104</td><td>68.0</td><td>16.3</td><td>15.5</td><td>68.0</td><td>16.3</td></tr> <tr><td>H17</td><td>201,000</td><td>65.3</td><td>18.8</td><td>15.9</td><td>65.3</td><td>18.8</td></tr> <tr><td>H22</td><td>199,234</td><td>62.7</td><td>22.0</td><td>15.1</td><td>62.7</td><td>22.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>195,882</td><td>60.6</td><td>25.5</td><td>13.9</td><td>60.6</td><td>25.5</td></tr> <tr><td>H32</td><td>191,428</td><td>60.0</td><td>27.3</td><td>12.7</td><td>60.0</td><td>27.3</td></tr> <tr><td>H37</td><td>185,439</td><td>60.3</td><td>27.9</td><td>11.9</td><td>60.3</td><td>27.9</td></tr> <tr><td>H42</td><td>178,566</td><td>59.6</td><td>29.1</td><td>11.2</td><td>59.6</td><td>29.1</td></tr> <tr><td>H47</td><td>171,259</td><td>57.8</td><td>31.1</td><td>11.1</td><td>57.8</td><td>31.1</td></tr> <tr><td>H52</td><td>163,800</td><td>55.1</td><td>33.8</td><td>11.1</td><td>55.1</td><td>33.8</td></tr> </tbody> </table> <p>(平成 22 年までは国勢調査結果。平成 27 年以降は社人研推計値)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田市の人口推計を小学校区別に見ると、人口が増加すると推計されるのは、市内 24 校区のうち光明、旭、新条のわずか 3 校区で、残りの 21 校区は減少する見込み。 特に、山滝、浜、東葛城、天神山、城東、山直南、中央、城北、春木の各校区の減少が著しく、2015(平成 27)年と 2054(平成 66)年と比較すると 50%以上の減少率となっている。 更に、小学校区別の高齢化率を見ると、半数以上の校区が 25～35%と推計されているなか、山直南、浜、城東、中央の 4 校区は 40%以上、山滝、天神山、東葛城の 3 校区は 50%以上と約半数の方が高齢者という状態になる。 市全体の人口減少や少子高齢化が進行するなか、人口が増加すると推計される校区も一部あるが、大半の校区では人口減少や少子高齢化が進行するとともに、その進行度合いについては校区間でバラつきがあることが予測される。 <div data-bbox="272 1330 863 1395" data-label="Caption"> <p>【コーホート要因法による 校区別人口増減率(平成 27 年⇒平成 66 年)】</p> </div> <div data-bbox="316 1420 896 2029" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="962 1330 1437 1395" data-label="Caption"> <p>【コーホート要因法による 校区別高齢化率の変化予測】</p> </div> <div data-bbox="962 1404 1457 2045" data-label="Figure"> </div> <p>※校区別人口は、昭和 59 年から現在までの住民基本台帳の異動をもとに、コーホート要因法により推計</p>	年	年少人口(人)	生産年齢人口(人)	老年人口(人)	年少人口割合(%)	生産年齢人口割合(%)	老年人口割合(%)	S30	107,640	64.2	30.7	5.1	64.2	30.7	S35	120,265	67.5	27.4	5.1	67.5	27.4	S40	143,710	69.6	25.1	5.3	69.6	25.1	S45	162,022	68.8	25.3	5.9	68.8	25.3	S50	174,952	66.7	26.3	7.0	66.7	26.3	S55	180,317	67.1	24.6	8.3	67.1	24.6	S60	185,731	68.9	21.7	9.3	68.9	21.7	H2	188,563	71.0	18.3	10.6	71.0	18.3	H7	194,818	70.4	16.7	12.9	70.4	16.7	H12	200,104	68.0	16.3	15.5	68.0	16.3	H17	201,000	65.3	18.8	15.9	65.3	18.8	H22	199,234	62.7	22.0	15.1	62.7	22.0	H27	195,882	60.6	25.5	13.9	60.6	25.5	H32	191,428	60.0	27.3	12.7	60.0	27.3	H37	185,439	60.3	27.9	11.9	60.3	27.9	H42	178,566	59.6	29.1	11.2	59.6	29.1	H47	171,259	57.8	31.1	11.1	57.8	31.1	H52	163,800	55.1	33.8	11.1	55.1	33.8
年	年少人口(人)	生産年齢人口(人)	老年人口(人)	年少人口割合(%)	生産年齢人口割合(%)	老年人口割合(%)																																																																																																																																
S30	107,640	64.2	30.7	5.1	64.2	30.7																																																																																																																																
S35	120,265	67.5	27.4	5.1	67.5	27.4																																																																																																																																
S40	143,710	69.6	25.1	5.3	69.6	25.1																																																																																																																																
S45	162,022	68.8	25.3	5.9	68.8	25.3																																																																																																																																
S50	174,952	66.7	26.3	7.0	66.7	26.3																																																																																																																																
S55	180,317	67.1	24.6	8.3	67.1	24.6																																																																																																																																
S60	185,731	68.9	21.7	9.3	68.9	21.7																																																																																																																																
H2	188,563	71.0	18.3	10.6	71.0	18.3																																																																																																																																
H7	194,818	70.4	16.7	12.9	70.4	16.7																																																																																																																																
H12	200,104	68.0	16.3	15.5	68.0	16.3																																																																																																																																
H17	201,000	65.3	18.8	15.9	65.3	18.8																																																																																																																																
H22	199,234	62.7	22.0	15.1	62.7	22.0																																																																																																																																
H27	195,882	60.6	25.5	13.9	60.6	25.5																																																																																																																																
H32	191,428	60.0	27.3	12.7	60.0	27.3																																																																																																																																
H37	185,439	60.3	27.9	11.9	60.3	27.9																																																																																																																																
H42	178,566	59.6	29.1	11.2	59.6	29.1																																																																																																																																
H47	171,259	57.8	31.1	11.1	57.8	31.1																																																																																																																																
H52	163,800	55.1	33.8	11.1	55.1	33.8																																																																																																																																

計画名	岸和田市人口ビジョン																																																																																											
計画期間	2015～2060																																																																																											
概要	<p>(2) 岸和田市の人口の将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のビジョンに合わせて出生率が向上した場合、2060年の本市人口は16万6千人台となる見込み。人口減少が止まるのは2085年頃となる。 ・国のビジョンに合わせて出生率が向上し、かつ転入出を均衡させた場合、2060年の本市人口は17万8千人台となる見込み。人口減少が止まるのは2070年頃となる。 <p>【国の長期ビジョンに示された出生率の向上や岸和田市の人口動態を考慮した仮定条件を用いた人口推計結果】</p> <p>(参考) 総計策定時の想定人口 2022年 200,030人</p> <p>(参考) 市独自推計</p> <p>(参考) 社人研推計</p> <p>2065年頃から増加に転じる 定住促進効果</p> <p>2070年頃から増加に転じる</p> <p>2085年頃から増加に転じる</p> <p>出生率向上効果</p> <p>①: 出生率向上 ②: 出生率向上+転入出均衡 ③: 出生率向上+転入超過 市独自推計値 社人研推計人口 総合戦略策定時の想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2010年</th> <th>2015年</th> <th>2020年</th> <th>2025年</th> <th>2030年</th> <th>2035年</th> <th>2040年</th> <th>2045年</th> <th>2050年</th> <th>2055年</th> <th>2060年</th> <th>参考 2022年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①: 出生率向上</td> <td>199,237</td> <td>195,884</td> <td>193,469</td> <td>189,985</td> <td>186,022</td> <td>182,465</td> <td>179,626</td> <td>176,631</td> <td>173,389</td> <td>169,850</td> <td>166,538</td> <td>192,075</td> </tr> <tr> <td>②: 出生率向上+転入出均衡</td> <td>199,237</td> <td>195,884</td> <td>194,968</td> <td>192,923</td> <td>190,473</td> <td>188,400</td> <td>186,856</td> <td>185,073</td> <td>183,051</td> <td>180,663</td> <td>178,409</td> <td>194,150</td> </tr> <tr> <td>③: 出生率向上+転入超過</td> <td>199,237</td> <td>195,884</td> <td>196,540</td> <td>196,022</td> <td>195,058</td> <td>194,449</td> <td>194,362</td> <td>194,004</td> <td>193,375</td> <td>192,341</td> <td>191,427</td> <td>196,333</td> </tr> <tr> <td>社人研推計人口</td> <td>199,237</td> <td>195,884</td> <td>191,428</td> <td>185,440</td> <td>178,571</td> <td>171,265</td> <td>163,802</td> <td>156,071</td> <td>147,971</td> <td>139,277</td> <td>130,332</td> <td>189,033</td> </tr> <tr> <td>市独自推計</td> <td></td> <td>198,756</td> <td>194,846</td> <td>190,247</td> <td>184,823</td> <td>178,736</td> <td>172,308</td> <td>166,124</td> <td>159,715</td> <td></td> <td></td> <td>193,059</td> </tr> <tr> <td>総合戦略策定時の想定</td> <td>199,520</td> <td>199,404</td> <td>196,705</td> <td>197,743</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>200,030</td> </tr> </tbody> </table> <p>総計策定時から約7千人の差</p>		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	参考 2022年	①: 出生率向上	199,237	195,884	193,469	189,985	186,022	182,465	179,626	176,631	173,389	169,850	166,538	192,075	②: 出生率向上+転入出均衡	199,237	195,884	194,968	192,923	190,473	188,400	186,856	185,073	183,051	180,663	178,409	194,150	③: 出生率向上+転入超過	199,237	195,884	196,540	196,022	195,058	194,449	194,362	194,004	193,375	192,341	191,427	196,333	社人研推計人口	199,237	195,884	191,428	185,440	178,571	171,265	163,802	156,071	147,971	139,277	130,332	189,033	市独自推計		198,756	194,846	190,247	184,823	178,736	172,308	166,124	159,715			193,059	総合戦略策定時の想定	199,520	199,404	196,705	197,743								200,030
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	参考 2022年																																																																																
①: 出生率向上	199,237	195,884	193,469	189,985	186,022	182,465	179,626	176,631	173,389	169,850	166,538	192,075																																																																																
②: 出生率向上+転入出均衡	199,237	195,884	194,968	192,923	190,473	188,400	186,856	185,073	183,051	180,663	178,409	194,150																																																																																
③: 出生率向上+転入超過	199,237	195,884	196,540	196,022	195,058	194,449	194,362	194,004	193,375	192,341	191,427	196,333																																																																																
社人研推計人口	199,237	195,884	191,428	185,440	178,571	171,265	163,802	156,071	147,971	139,277	130,332	189,033																																																																																
市独自推計		198,756	194,846	190,247	184,823	178,736	172,308	166,124	159,715			193,059																																																																																
総合戦略策定時の想定	199,520	199,404	196,705	197,743								200,030																																																																																

計画名	岸和田市人口ビジョン
計画期間	2015～2060
概要	<p>(3)人口減少に歯止めをかけるために目指すべきまちづくりの方向</p> <div data-bbox="293 255 1225 309" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>子育て世代が魅力を感じ、安心して子どもを産み育てられるまちづくり</p> </div> <p>本市の社会動態は30歳前後の子育て世帯の転出が転入を大きく上回っていることから、子育て世代に魅力あるまちづくりが必要となっている。</p> <p>転出入者アンケート調査結果でも、転出入理由の上位が「通勤通学」「子育て環境」「教育環境」「治安」となっており、これらの取組改善が求められている。一方、本市は三世帯同居率が高く、医療施設数も充実するなど、安心して子育てができる環境も備わっており、これらの特徴を活かしてまちづくりを進めていくことも必要である。</p> <div data-bbox="293 568 1225 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>地域の特性を生かし、時代にあったまちづくり</p> </div> <p>本市は泉南地域の経済・文化・行政の中心的役割を果たしてきた。しかしながら、近年は泉州地域内の人口移動が転出超過になるなど、その位置付けは変化してきている。今後も泉南地域のリーディングシティとして先導的な役割を果たしていくために、次世代につながる持続的なまちづくりが必要である。</p> <p>人口推移をみると、大幅な人口減少が予想される校区もある。今後、公共施設などを効率的に配置し、それらを拠点とした交通網の整備が必要である。また交通網の充実は転出入者アンケート調査結果で転出入者が「通勤通学」を1位に挙げていることからみても重要な取組である。</p> <div data-bbox="293 936 1225 990" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>資源を活かして活力の創出につなげ、魅力を発信できるまちづくり</p> </div> <p>本市は大阪府内平均と比較し、第1次産業・第2次産業の就業者割合が高く、農業や漁業に代表される豊かな産業や多くの魅力的な資源が存在する。しかし人口減少に伴う労働力人口の減少や、泉州地域内における小売業のシェア率の低下が見られるなど、さらなる活力の創出も必要である。</p> <p>また、イメージ調査やブランド総合研究所の調べによれば、市外の人々の来訪意欲は高いものの居留意欲は低く、市外の人々が抱く本市の都市イメージも市民とは隔たりがある。観光資源を活かした施策の展開にあわせ、市民が感じているまちの魅力を市外に伝え、暮らしやすいまちのイメージを持っていただく必要がある。</p> <div data-bbox="293 1317 1225 1370" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>みんながみんなを支えあい、安心安全に暮らせるまちづくり</p> </div> <p>本市は大阪府内平均と比較して三世帯同居世帯の割合が高いという傾向がある。</p> <p>転入者アンケート調査でも、子育て世帯が最も期待する子育て環境は「祖父母の援助」であり家族みんなで子育てをする土壌が整っている。しかし、高齢単身世帯の増加や核家族化の進行も見逃せない状況であり、孤独に陥ることなく市民みんなが安心して暮らしていくには、住民相互における扶助機能を高めていく必要がある。</p> <p>本市の刑法犯罪認知件数は近年減少傾向にあるが、地域の犯罪抑止効果を高めることが必要である。また、南海トラフ巨大地震の発生が危惧される昨今ではハード・ソフト両面からまちの防災力を高めることも必要である。</p>

計画名	岸和田市総合戦略
計画期間	2015～2020
概要	<p>(1) 岸和田市総合戦略と岸和田市まちづくりビジョンの関係 ・まちの魅力向上させ、定住人口の増加を目指している(まちづくりビジョン第2期戦略計画)</p> <div data-bbox="279 313 1452 660" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">岸和田市まちづくりビジョン (第4次岸和田市総合計画)</p> <p style="text-align: center;">岸和田市に関わるすべての事項をテーマとしています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">第2期戦略計画</p> <p>『みんなが住んでみたい、住み続けたいと思えるまちになっている』を最重要の目標とし、様々な数値目標や、目標を達成するための公民の役割分担を盛り込んでいます。</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white;">岸和田市総合戦略</p> <p>『まち・ひと・しごと創生』に特化した事項について、具体的な取組を盛り込んだ複数のプロジェクトを設定し、それぞれまちづくりビジョンとの関連性も明らかにしています。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-top: 10px;"> <p>審議会や懇話会を通じて市民の声を反映し、公民協働により策定</p> </div> </div> <p>【第2期戦略計画 総括目指す成果】 『みんなが住んでみたい、住み続けたいと思えるまちになっている』</p> <p>【最優先目指す成果】 『子どもを生き育てやすい環境が整っている』 『仕事と子育てが両立できている』 『子どもが感受性や社会性を身につけている』 『市内の移動がスムーズにできている』</p> <p>【優先目指す成果】 『安全で快適な教室で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる』</p> <p>(2) 岸和田市総合戦略の位置づけ</p> <div data-bbox="414 1198 1460 1646" style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the strategic framework. At the top is the '岸和田市まちづくりビジョン (第4次岸和田市総合計画)' (Shikata City Vision/4th Comprehensive Plan) covering '将来構想 (H23～H34)'. Below it are three strategic plans: '第1期戦略計画 (H23～H26)', '第2期戦略計画 (H27～H30)', and '第3期戦略計画 (H31～H34)'. A dashed box on the left represents the '岸和田市人口ビジョン' (Shikata City Population Vision). A central box represents the '岸和田市総合戦略 (H27～H31)' (Shikata City Comprehensive Strategy). To the right is a '分野別計画' (Sectoral Plan) box containing '基本計画' (Basic Plan) and '事業計画' (Business Plan) for three sectors. Arrows indicate '整合・反映' (Integration and Reflection) from the strategic plans to the comprehensive strategy, and from the comprehensive strategy to the sectoral plans. A specific arrow from the 2nd Strategic Plan to the Comprehensive Strategy is labeled '「まち・ひと・しごと創生」に関連する内容を抽出・反映' (Extracting and reflecting content related to 'Machi, Hito, Shigoto Sousei').</p> </div> <p>(3) 岸和田市総合戦略の策定目的 岸和田市総合戦略策定の前提となる「岸和田市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」においても、何の手だても打たず、現状のまま推移とした場合、本市の総人口は大きく落ち込み、少子高齢化がさらに加速することを明らかにしている。 国が示すように人口の減少や、本市の活力を支える生産年齢人口及び将来の担い手の減少は、まちの活力を減退することにつながり、このまちの活気の減退が、さらなる人口減少を引き起こすという“負のスパイラル”は、本市にも例外なく訪れるものと想定される。 岸和田市総合戦略策定の目的も、この“負のスパイラル”の主原因となる急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、地域で住みよい環境を確保することで、将来にわたって活力あるまちを維持するために計画を策定し、取組を進める。</p>

計画名	岸和田市総合戦略
計画期間	2015～2020
概要	<p>(4)人口ビジョン『目指すべき方向』に対応した8つのプロジェクト</p> <p>人口ビジョンでは、データやアンケートから見えてきた岸和田市の『強み』『弱み』をもとに、4つの『目指すべき方向』を設定している。</p> <p>総合戦略では、人口ビジョンにおける『目指すべき方向』に対応した8つのプロジェクトにより、『強み』に対しては、その状況を維持、増進できるような取組を推し進め、『弱み』については、早急にその状況を打破できるような取組を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">目指すべき方向</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">子育て世代が魅力を感じ、安心して子どもを産み育てられるまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">地域の特性を活かし、時代にあったまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">資源を活かしてまちの活力の創出につなげ、魅力を発信できるまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;">みんながみんなを支え合い、安心安全に暮らせるまちづくり</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">プロジェクト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">Leading City 岸和田プロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">出産・子育て支援プロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">教育環境充実プロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">みんなで支えあいプロジェクト</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px; color: red;">まちの拠点形成プロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域の安心・安全プロジェクト</div> </div> </div>
	<p>(5) まちの拠点形成プロジェクトの基本的方向</p> <p>本市の人口推計を小学校区別に見ると、今後40年間で半数以上の小学校区で3割以上の人口減少が予測され、多い地域では5割を超えることも予測される。これらの地域が市内の拠点としてコミュニティを維持するためには、一定規模の人口を維持することが必要であり、特に次世代を担う若者が、地域で活躍できる環境が望まれる。こういった環境づくりに向け、地域の方々と知恵を絞り、今後のまちの姿を創造する。</p> <p>同時に、大きな人口増加が見込めない現状を踏まえると、これまでのような拡大路線ではなく、市内や地域内に公共施設を効率的に配置、集約した拠点づくりが必要になる。幸い、本市は海から山までの地形を有しており、様々な魅力を有する拠点となりえる場所が多数ある。</p> <p>その1つとして、本市丘陵部においては、『人々が元気で快適に生きがいをもって暮らせる“まち”』『活力があり地域を輝かせる産業がある“まち”』『地球と人にやさしい自然環境がある“まち”』といった3つのまちの姿を目標に、働き、学び、暮らしがコンパクトにまとまった新しいまちづくりを進めている。本市に新たな活力をもたらす拠点として、定住人口の増加だけでなく、新たな産業モデルの構築などを期待している。</p> <p>また、こういった<u>コンパクトにまとまった拠点が孤立することなく、上手に連携</u>することによって、<u>まちの活気、人材の交流・育成につなげることができる。市内移動の重要な手段となるバス交通を中心に、将来にわたって、みんなが快適に利用できる公共交通の仕組みを構築し、市内全域がうまく連携のとれる体制づくりを進める。</u></p>

計画名	岸和田市総合戦略																																																																												
計画期間	2015～2020																																																																												
概要	<p>(6) まちの拠点形成プロジェクト 具体的な取組と重要業績評価指標(KPI)</p> <p>① 拠点間をつなぐスムーズな移動の実現(交通まちづくりの推進) <公共交通のあり方を検討、利便性を向上(交通政策検討事業、バス交通充実事業)> <u>将来にわたって、みんなが使える公共交通サービスの実現に向けた交通まちづくりスキームの構築(地域公共交通網形成計画)と地域創生拠点の形成に寄与する交通結節機能の拡充</u>に取組む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス・コミュニティバスにICカード等導入の支援</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通まちづくりアクションプラン策定</td> <td colspan="3">→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プランに基づく事業の実施</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：市内で運行されているバスの1日平均乗車人数 3,827人(平成26年)⇒4,100人(平成30年)</p> <p><JR阪和線東岸和田駅付近の鉄道高架化の実現(JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業)> <u>踏切混雑を解消し、交通の利便性・安全性の向上、市街地の一体化</u>を図るため、<u>JR阪和線東岸和田駅付近の早期の鉄道高架化</u>に向け、取組を進める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下線高架化に向けた取組の実施</td> <td colspan="3">→</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：踏切による交通遮断時間</p> <p>市道並松上松線 9.8時間/日(平成21年) 6.7時間/日(平成26年(下り線高架後)) ⇒ 0.0時間/日(平成29年)</p> <p>府道岸和田港塔原線 9.6時間/日(平成21年) 5.2時間/日(平成26年(下り線高架後)) ⇒ 0.0時間/日(平成29年)</p> <p>② 鉄道駅周辺における拠点の整備 <春木駅・久米田駅周辺の利便性を向上(市街地形成事業)> <u>鉄道駅周辺の安全性を確保し、駅周辺に暮らす人や駅利用者の通勤や通学、買物などの日常生活の利便性を向上</u>させるために、<u>市内鉄道駅周辺の整備</u>を進める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春木駅周辺まちづくり構想の策定</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>春木駅周辺まちづくり構想に基づく事業の実施</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">→</td> </tr> <tr> <td>久米田駅周辺まちづくり基本構想の策定</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>久米田駅周辺の歩行者のアクセス性向上手法の検討</td> <td></td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討内容に基づく事業の実施</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：検討の進捗にあわせて設定</p>					実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	路線バス・コミュニティバスにICカード等導入の支援	→					交通まちづくりアクションプラン策定	→					プランに基づく事業の実施			→			実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	上下線高架化に向けた取組の実施	→					実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	春木駅周辺まちづくり構想の策定	→					春木駅周辺まちづくり構想に基づく事業の実施			→			久米田駅周辺まちづくり基本構想の策定	→					久米田駅周辺の歩行者のアクセス性向上手法の検討		→				検討内容に基づく事業の実施			→		
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
路線バス・コミュニティバスにICカード等導入の支援	→																																																																												
交通まちづくりアクションプラン策定	→																																																																												
プランに基づく事業の実施			→																																																																										
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
上下線高架化に向けた取組の実施	→																																																																												
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
春木駅周辺まちづくり構想の策定	→																																																																												
春木駅周辺まちづくり構想に基づく事業の実施			→																																																																										
久米田駅周辺まちづくり基本構想の策定	→																																																																												
久米田駅周辺の歩行者のアクセス性向上手法の検討		→																																																																											
検討内容に基づく事業の実施			→																																																																										

計画名	岸和田市総合戦略																																																																												
計画期間	2015～2020																																																																												
概要	<p>③丘陵部における拠点の整備 <グリーンビレッジ構想の推進(丘陵地区整備事業)> 丘陵地区における都市、農、自然が融合するまちの実現に向け、岸和田グリーンビレッジ構想(平成26年3月)に基づく具体的な形成計画を策定し、その活動を通じて、まちづくり(育て)の核となる人材の発掘・育成やネットワークの構築、地域資源を活かした産業の創出による雇用拡大を図る。また、それらを支える基盤を整えることにより、山手地域の暮らし、商工業、農業、環境、防災、交流といった様々な分野における新たな拠点づくりを目指す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岸和田グリーンビレッジ形成計画の策定</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人材・ネットワークの育成</td> <td></td> <td colspan="4">→</td> </tr> <tr> <td>地域資源を活かした産業の創出</td> <td></td> <td colspan="4">→</td> </tr> <tr> <td>拠点を支える基盤づくり</td> <td></td> <td colspan="4">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：まちづくり(育て)活動実施回数 15回(平成31年) 市外からの参画団体(企業・世帯) 22団体(平成31年)</p> <p><丘陵地区内に農業拠点の形成(丘陵地区農整備事業)> 丘陵地区において、次世代を見据えた技術導入による地域産業の育成検討や、水資源の調査、環境に優しい農業の取組検討などを実施し、農業拠点の形成を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次世代施設園芸拠点構想の策定</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>岸和田フードバレー計画の推進</td> <td></td> <td colspan="4">→</td> </tr> <tr> <td>補足水源調査</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>竹木の有効活用方策検討</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：農業参入希望者数 30件(平成31年までに)</p> <p>④臨海部における拠点の整備 <木材港の充実(港湾振興事業)> 一定規模以上の企業を対象に木材コンビナートへの進出可能性の意向調査を実施し、その調査結果を基に木材コンビナートの抱える課題等を分析することで、今後の臨海部における活性化事業および木材コンビナートの利活用につなげる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関との調整、木材需要のニーズ等調査・分析</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：調査・分析結果を踏まえ、後年度以降に設定</p>					実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	岸和田グリーンビレッジ形成計画の策定	→					人材・ネットワークの育成		→				地域資源を活かした産業の創出		→				拠点を支える基盤づくり		→				実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	次世代施設園芸拠点構想の策定	→					岸和田フードバレー計画の推進		→				補足水源調査	→					竹木の有効活用方策検討	→					実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	関係機関との調整、木材需要のニーズ等調査・分析		→			
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
岸和田グリーンビレッジ形成計画の策定	→																																																																												
人材・ネットワークの育成		→																																																																											
地域資源を活かした産業の創出		→																																																																											
拠点を支える基盤づくり		→																																																																											
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
次世代施設園芸拠点構想の策定	→																																																																												
岸和田フードバレー計画の推進		→																																																																											
補足水源調査	→																																																																												
竹木の有効活用方策検討	→																																																																												
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																																																								
関係機関との調整、木材需要のニーズ等調査・分析		→																																																																											

計画名	岸和田市総合戦略																																														
計画期間	2015～2020																																														
概要	<p>⑤市街化調整区域のまちのあり方検討 <山手地区のまちの姿を検討(都市計画事業)> 本市の田園区域以東には、岸和田の多様性を象徴する豊かな自然と農空間が広がる地域として古くからまとまった集落が形成されている。 しかし、近年は人口減少も著しく、急激な少子高齢化も進んでおり、コミュニティを維持するための、地域のあり方を検討する必要がある、そこで、地域住民自らが主体となって考える機会を設け、自律したまちづくりを支援する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の拠点づくり構想の検討</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td>地域のエリアマネジメント方策の検討</td> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：住民による地域のまちづくりを考える検討会への開催回数 (参加人数) 15回(225人)(5年間累計)</p> <p>⑥主要幹線道路沿道のまちのあり方検討 <泉州山手線沿道のまちの姿を検討(広域幹線計画事業)> 山手地区における幹線道路沿道などについて、地域・産業ポテンシャルを生かし、地域活力の増進に資する自然環境との調和、農業との連携、産業誘致等の土地利用の推進を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿道まちづくり方針の策定</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>沿道まちづくり構想の策定</td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業化に向けた具体的な検討 (まちづくり基本調査など)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ KPI：地元関係者等への意見聴取、ワークショップ等の開催 5回 ※その他関連主要事業：街づくり支援事業など</p>					実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	地域の拠点づくり構想の検討	→					地域のエリアマネジメント方策の検討		→				実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	沿道まちづくり方針の策定	→					沿道まちづくり構想の策定		→				事業化に向けた具体的な検討 (まちづくり基本調査など)			→		
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																										
地域の拠点づくり構想の検討	→																																														
地域のエリアマネジメント方策の検討		→																																													
実施内容	H27	H28	H29	H30	H31																																										
沿道まちづくり方針の策定	→																																														
沿道まちづくり構想の策定		→																																													
事業化に向けた具体的な検討 (まちづくり基本調査など)			→																																												